

次 目 法 授 教

教授法目次

緒説
教授汎論



新ナル智識ヲ取得スル心意ノ作用	一
形式期豫備	一五
形式期提示	一八
聯結統一ニ關スル心意作用	四一
聯結及ヒ統一	四九
第六節 應用	五三



教授法目次終

教授法

本 莊 太 一 郎 述



教育ノ要ハ自由ヲ別レテ二途トナル即狭キ意義ニテ云ハル教育及ビ教授之レナ
 リ實際ノ事業ニ於テハ此二者ハ固ヨリ之ヲ分別スルコト能ハズト雖モ思想ノ上
 ニ於テハ明ニ之ヲ區別スルコトヲ得ベシ
 人間ノ精神作用ヲ區別シテ智情意ノ三者トナスコトハ韓國以來心理學者ガ常ニ
 採用スル所ノ區分法ナリ今此精神作用ニ付キテ教育ト教授トノ區別ヲナスハ
 意志ノ練修ヲ目的トスルハ主トシテ教育ノ關係スル所ニシテ生徒ノ思想ヲ發展
 セシメ適切ナル智識ヲ授クルコトハ即教授ノ任務ナリ元來何ヲ知リ居ルヤト云
 ハルコトハ吾人ニ取テ隨分主要ナル問題タルニ相違ナシト雖モ吾人ハ何ヲ欲ス
 ルヤ何ヲ志スヤト云ハルコトハ更ニ一層主要ナリトス何トナレバ人間ノ價格ナ

ルモノハ其知ル所其學ヲ所ノ如何ニ依リテ定マルニハアラズシテ其志ニ所其行
 フ所ニ依リテ決定セラル、モノナレバ其行、吾人ノ品性ハ智識ニ依テ形作ラレズ
 シテ實ニ其志ニ所ノ結果ニ外ナラザレバナリ。故ニ其志ニ依リテ云ハル教育コソ
 實ニ廣キ意義ニテ云ハル教育全躰ノ目的ニ一層近逼スルモノト謂フコトヲ得ル
 シ。此點ヨリ云ハバ教授ハ明カニ教育ノ下位ニ立ツモノト謂ハザルベカラズ。
 然レモ吾人ノ志ニ所即吾人ノ決意作用ハ獨立ノ精神作用ニハアラズシテ其他ノ
 心意作用即感情ニ依リテ影響ヲ受クハ勿論更ニ其基本ヲ生徒思想ノ全範圍ニ置
 クモノナリ。感情ト雖モ意志ト雖モ皆知ルト云ハル範圍外ニ出ルコト能ハズ。吾人
 ノ智識ハ必ズ外ニ向テ發動スル意志ヲ刺激スルモノニアラズト雖モ尙モ意志
 ナ刺衝シテ一ノ行爲ヲナサシムルモノハ必ズヤ吾人ガ智識範圍内ニ在ルモノタ
 ルコト明カナリ。故ニ吾人ガ直接ニ教授ニ依ツテ生徒ノ思想ヲ整頓センガ爲ニ努
 カスルコトハ間接ニハ意志ノ教練ヲナスモノト稱スルコトヲ得ベシ。故ニ教授ハ
 又々之ヲ間接ノ教育作用ト稱スルコトヲ得ルナリ。此點ヨリ云フハ教授ノ必要
 事ト教育ノ上ニ在リト謂フモ決シテ不可ナカルベシ。

然リト雖モ教授ハ悉ク之ヲ間接ノ教育作用ト稱スベキニハアラズ。單ニ一種ノ智
 識技能ヲ授ケントスルモノ、如キハ殆ト意志ノ作用ニ關係ナキモノト稱スルモ
 可ナリ。其ノ間接ナル教育作用ト稱スベキモノハ其目的生徒ノ人物ヲ陶冶スルニ
 在リ。即其人ノ意志ヲシテ既定ノ方針外ニ走ラザル様教練センコトヲ目的トシ、此
 目的ニ適合スルヤウ其思想ノ全範圍ヲ整頓スル所謂**教的教授**ト稱スルモノニ
 限レリ。茲ニ於テ教授ニハ二様ノ緊要ナル區別アルコトヲ知ル。即單に一種ノ智識
 技能ヲ授クル**專門教授**ト**教育的教授**ノ區別之レナリ。小學校中學校ノ教授ニ如キ
 ハ所謂**教育教授**ニ屬シ商業學校職工學校大學校ノ如キハ即**專門教授**ニ屬ス。故ニ
 專門教授ヲ受クルノ生徒ハ既ニ其品性牢固ニシテ其ノ意志ノ向フ所ハ決シテ道
 義ノ正路外ニ出ザルコトナキモノナラザルベカラズ。即普通教育ヲ受ケタルモノナ
 ラザルベカラズ。然ラザレバ專門ノ學識ハ却テ己ガ一身ヲ誤リ國家ヲ害スルノ基
 タラントス。然レモ獨逸ノ大學校ニ於テ其卒業ノ際將來己ガ學習シ得タル專門ノ
 學識ヲ個人若クハ社會ニ對シテ誤用セザルベキコトヲ誓言セシムルヲ以テ見レ
 ば其教授ニモ尙未ダ**教育的教授**ノ意義ヲ包含スルコト明カナリトス。

教育的教授ト單純ナル智識教授トハ已ニ其目的ニ於テカ、ル相違アル以上ハ、之
 カ教授ノ方法ニ至リテモ、亦タ差異ナカルベカラズ。即專門教授ニ在リテハ、單ニ其
 智識ヲ生徒ニ授クベキ便法ヲ改究スルニ止レド、教育的教授ニテハ然ラズ。獨リ生
 徒ニ智識ヲ授クルニ止ラズ、此智識ガ死物トナリテ腦中ニ堆積スルコトナク、直ニ
 感情特ニ意志ヲ刺衝シテ道德ニ適合シタル行爲トナリテ發現スルニ至ラシメシ
 コトヲ常ニ注意セザルベカラズ。假令ハ小學校ノ歴史教授ハ單ニ歷史上ノ事實ヲ
 知ラシムルノミト考フルモノアラバ之レ大ナル謬見ナリ。未タ眞ノ小學教育ヲ知
 レルモノト謂フベカラズ、必ズヤ教員ハ其熱心ナル語課ト明瞭ナル談話トヲ以テ
 又タ地圖書像等ノ動物ニ依ツテ、生徒ヲシテ恰モ己レノ自ラ其地位ニ立テルノ想
 チナサシメ、其人物ト同一ノ感情ヲ發揮シ、同一ノ行爲ヲ爲サシムルノ決心ヲ起
 サシメザルベカラズ。茲ニ於テカ教育的教授ニハ專門教授ノ目的ノ外ニ左ノ要求
 ナシズ。

一 教育的教授ニ於テハ單ニ知ラシムルコトヲ以テ満足スベカラズ。生徒ヲシテ、其知
 識ヲ善クテ意志行爲トナリテ外ニ向フヲ現レシトスル動念即所謂興味ヲ生
 シムベキナリ。

二 智識ヲ興フルト同時ニ之ヲ活用スベキ能力ヲモ有セシムベキナリ。然ラザレバ智
 識ハ死物トナリテ心裏ニ堆積セシ、

三 智識ハ孤立スルコトナク、互ニ相聯絡セシメテ、其思想ハ能ク整頓シタル一全躰ト
 ルニ至ラシムベキナリ。然ラザレバ智識ハ其アラユル機會ニ於テ自由ニ發現スル
 コトナキニ至ラントス。

四 智識ハ悉ク道德的觀念ヲ以テ統一セラルベキコト之レナリ。
 此要求ニ應ズルガ爲ニハ、教授ニ於テハ實ニ幾多ノ準備ヲ要スト。雖モ其最モ必要
 ナルモノニアリ。曰ク如何ナル材料ヲ教授スベキヤ、曰ク如何ナル方法ヲ以テ教授
 スベキヤ之ナリ。

第一問即生徒ニ教授スベキ材料ノ如何ヲ決定スルコトハ之レ教育全般ノ目的ヨリ
 考ヘ出スベキモノナレバ、主トシテ倫理學ノ指定スル所ニ基カザルベカラズト雖、
 又タ其生徒特殊ノ境遇ニ依リテ之カ一般ノ指定ヲ斟酌セザルベカラズ。即其境遇
 トハ生徒ガ如何ナル家族中ノ一人トシテ、如何ナル國家ノ一臣民トシテ、如何ナル

社會一人トシテ將來生活スベキヤト云ヘルコト之レナリ。故ニ此點ヨリ考フル
 所ハ教授ノ材料ハ決シテ之ヲ朝三暮四ノ近眼者流ニ一任スベキモノニアラズシ
 テ、遠ク國家百年ノ未來ヲ洞察シ、人類トシテ必ズ遵奉スベキ倫理上ノ原則ノ外ニ
 更ニ其國ノ躰制、發達ノ歴史ニ溯リ、國家將來ノ趨勢ニ適合スベキ人物ヲ養成セシ
 ゾトテ目的トシテ選擇スル所ナカルベカラス、且ツ又タ此目的ヨリシテ選擇シタ
 ル材料ヲ更ニ小學校若クハ中學校ニ分配スルノ方針ヲ定メ、更ニ又之ヲ各小學校
 ノ各年級ニ配列スルノ方法ヲ決定スルコトノ如キモ、教育上教育的教授上最トモ
 必要ナル問題ナリトス。余モ此點ニ關シテハ意見ナキニアラズト雖モ、今ハ教授方
 法ヲ研究スルコト、余ガ受持ノ範圍ナルヲ以テ、此一方ハ之ヲ他日ニ譲リ、材料ハ已
 ニ選擇セラレタルモノトナシ、サテ之ヲ教授スルノ方法ヲ研究スベシ、唯生徒心得
 ノ發達程度ニ從ヒテ、之ガ材料ノ配列ヲ決定スベキ問題ノミハ新智識ヲ授クルノ
 際應非其知テザルベカラザルヲ以テ之ダケハ後ニテ論スルコト、ナスベシ。
 教授ノ方法ヲ論究スルニハ主トシテ心理學ヲ明示スル所ニ依テザルベカラス、特
 ニ一般ノ心理作用ヲ研究スルノミナラズ、更ニ成長シツ、アル心意ノ作用ヲ研究

セザルベカラズ、何トナレバ教授特ニ教育的教授ハ、成長シツ、アル見識トシテ施
 スルモノナレバナリ。今之ヲ二種ニ區別シテ論ゼンニハ、教授ノ材料全躰ニ通シテ適
 用スベキ教授ノ形式ニシテ他ノ一ハ、教授ノ形式ニ基キ更ニ各學科特殊ノ性質ヲ
 斟酌シテ、各科ノ教授方法ヲ細論スルモノ之ナリ。假令ハ四角ハ之ヲ木石、土等種々
 ノ物質ヲ以テ作ルコトヲ得ルニシテ雖モ、又タ其大小輕重種々アルニシテ雖モ、其四
 角テフ形式ニ至リテハ、各異ナル所ナキ如ク、如何ナル學科ト雖モ、必ズ遵奉セザ
 ルベカラザル教授作用ノ本躰ト、此本件ヲ特殊ノ材料ニ適合スル權斟酌スルノ方
 法ト之レナリ。一ハ之ヲ教授汎論ト云ヒ、他ノ一ハ之ハ教授特殊論ト稱セン。今此篇ニ
 於テハ教授ヲ汎論スルニ止ムベシ。其特殊論ハ後ニテ論ズル所ナリ。

第一節 吾人ニ對シテハ、教育ノ本質ヲ明瞭ニ爲シ、其ノ心意ノ作用ヲ研究

教授汎論

第一節 吾人カ新ナル智識ヲ收得スル心意ノ作用

凡ソ兒童ハ勿論人間ト云フ人間ガ未ダ嘗テ見聞セシ所ナキ事物ヲ初メテ其心ニ
影響スル際ノ心意作用ニ付キテ其如何ナル次第ナルヤヲ知ルコト之レ教授順序
方法ヲ發見スルコトノ第一歩ナリトス。

今此作用ヲ説明セシガ爲ニ先ツ二三ノ實例ヲ列舉シテ其心狀ヲ觀察シ置キ然ル
後一般ノ心意作用ニ付テ論結スル所アラントス。

今諸君ノ前ニコップヲ持チ來レリトセン諸君ハ直ニ之ヲ見テコップナリト斷言
スベシ今其斷言ヲナスニ至ルマデノ心理作用ヲ察ズルニコップノ感覺ヲ受納ス
ルヤ否ヤ從來諸君ノ心中ニ記憶セラレタルコップノ舊觀念直ニ之ガ爲ニ意識ニ
再現シ來リ心意ハ此觀念ニ基キテ今眼前ニ在ルモノコップナルコトヲ斷言ス
ルニ至レルモノナリ故ニ此結合ニ於テハ唯舊來已ニ諸君ノ有スル所トナレルコ
ップノ觀念ヲ更ニ深厚ナラシメタルニ止リ別ニ新智識ヲ得ズシテ其作用ヲ終ラ
シノミ。

然ルニ今假ニ諸君ハコップヲ見タルコト未ダ嘗テ之レナシトセンニ此場合ニ於
テ諸君ガ眼中ニ入レルコップニ對シテ諸君ノ心意ハ如何ナル作用ヲ起スベキゾ
諸君ノ心中ニハ盃湯呑硝子瓶尙モ諸君ノ已ニ知レル所トナレルモノニシテコッ
ップノ或ル性質ト類似ノ點ヲ有スルモノハ雜然トシテ悉ク意識ニ現出スベシ此時
諸君ノ心意ハ其現出シ來レル觀念ト今眼中ニ入レル所ノ觀念トヲ比較シ來リテ
云ハシ其物質ハ硝子瓶ニ似タレハ形狀異レリ其形狀ハ細長キ湯呑ニ似タレハ物
質ハ異ナレリ若シ其コップニ酒ヲ盛レルモノトスレバ諸君ハ又思考スベシ其用
ハ盃ニ同クケレハ形狀物質異ナレリト若シ其他ニ諸君ガ考ヘ當レルモノ即之ト
或ル關係ヲ持ツ所ノ觀念ヲ心中ニ貯ヘザルハ諸君ハ此三ケノ舊觀念中諸君ノ
最モ近ク最モ類似シタリト思ヘル物ヲ從ヒテ或ハ盃ノ類トナシ或ハ硝子瓶ニ
類スト爲サン然レハ其觀念ハ固ヨリ精密ニ盃ニモ硝子瓶ニモ又タ湯呑茶碗ニモ
類似スルコトナキヲ以テ前キニコップヲ已ニ知レル場合ニ於ケルガ如ク舊觀念

ヲ確實ニスルノミニテハ終ラザルナリ。即暗ヲ換ヘテ云フトハ「コツプ」ト云ヘル物
牀ノ觀念ハ諸君ノ有スル如何ナル觀念ニモ全ク吞ミ込マレザルナリ、受納スル所
トナラザルナリ。

今此ノ如キ觀念ハ畢竟如何ナル有様ニテ終ルカヲ研究セシニ、若其觀念ノ印象薄
弱ニシテ、其實物ヲ眼前ヨリ取り去ルノ後、其人ノ心中ニ能ク獨立シテ存在スルコ
ト能ハズトスレバ、其物ハ其當時ニ呼ビ起サレタル觀念中、最モ能ク類似シタリト
思考スル觀念ニ聯絡シテ、僅ニ其痕跡ヲ心中ニ留ムルノミニテ終ラン。即諸君ガ盃
トカ、硝子瓶トカヲ想ヒ出ス機會アル毎ニ、余ハ嘗テ此物ニ類似シタル、奇異ナル器
物ヲ見タルコトアリキト云ハシムルノミニテ止マンノミ。然レモ若之ニ反シテ是
物ノ印象能ク心中ニ獨立シテ存在スル程強旺ナレバ、諸君ハ是ニ於テカ新智識ヲ
心中ニ得タルナリ。其觀念ハ諸君ガ已得ノ觀念ノ如何ナルモノニモ吞ミ込マル、
所トナラスシテ、能ク其間ニ獨立ノ地位ヲ占居スルニ至リ、シナリ。而シテ其地位ハ
恰モ其想ヒ起セル三觀念ノ中間ニ立チテ、物質ニテハ硝子瓶ト、形狀ニテハ細長キ
湯呑ト、又々功用ニテハ盃ト相聯絡スベシ。茲ニ於テ諸君ノ心中ニハ、左ノ如キ新現

象ヲ生ズルニ至ルベシ。

- 一、盃、硝子瓶若クハ湯呑ヲ想ヒ起ス機會アル毎ニ、「コツプ」ヲモ聯想スルコト。
- 二、「コツプ」ノ觀念ヲ想ヒ起ス機會アル毎ニ他ノ三觀念ヲモ聯想スルコト。
- 三、已ニ新觀念ヲ得タレバ、之ヲ言ヒ現ハスベキ言語上ノ符號ヲ附スルコト、心意ノ
定則ナルヲ以テ、若、「コツプ」ノ名稱ヲ知ラザルモノトセバ、硝子盃トカ何トカ、以前ヨ
リ有スル觀念中ノ最モ類似シタル數點ヲ合併シテ命名スベシ。
- 四、茲ニ於テ硝子盃ト云ヘル新智識ハ、盃ト云ヘル觀念ノ部類ニ編入セラレ、他ノ飲
器ト區別スルニ硝子^〇テフ物質形容詞ヲ以テセラル、ニ至リテ終テ告クベシ
今更ニ又々其場合ヲ變テ研究スベシ。諸君ノ前ニ、「コツプ」ヲ見タル時、諸君ハ「コツ
プ」ヲ未ダ嘗テ見タルコトナキノミナラズ、「コツプ」ト類似セル盃、湯呑、硝子瓶ハ勿論
其他少シニテモ類似ノ點ヲ有スル物品ヲモ悉ク知ラストセン。然ル時諸君ハ己ガ
眼中ニ入レル「コツプ」ニ付キテ如何ナル思考ヲ費スベキノ。諸君ノ心意ハ此物ニ對
シテハ全ク何タル思考ヲモ回ラスコト能ハザルベシ。諸君ハ唯漠然トシテ之ニ注
視シ、其形狀ヲ觀察シ、其物質ヲ研究シテ、奇異ノ想ヲナスニ留ルベシ。之レ即熱帶地

ノ裸躰漆黒ノ蠻民ニ北極地方氷山ヲ説明シ穴居シテ獸皮ヲ蒙ムル「エスキモー」ニ東京ノ銀座街ヲ見物セシムルノ類ナリ。普通ノ智識ヲ具フル吾人ハ此ノ如キ物躰ニ遭遇スルコト固ヨリ少シト雖モサハラノ大沙漠ノ光景ヲ説明セラルハ幾分力之ニ類似シタル感想ヲ起スベシ。然レモ此場合ト雖モ固ヨリ之ト或ル類似ノ點ヲ有スル觀念假令ハ平原砂礫ノ如キモノナキニアラザレバ多少ノ想像ヲ起スコトヲ得ベキナリ。

成長シタル人ニ在テハ此ノ如キ毫モ類似ノ點ヲ有セザル物躰ヲ見ルガ如キ場合極メテ稀ナレモ吾人ガ幼稚ノ時其智識ノ極メテ僅少ナリシ際ハ屢々カ、ル境遇ニ遭遇シタルコト明カナリ。

此ノ如キ場合ニ於テ其物躰ノ觀念ヲ得セシムルニハ唯再三之ヲ其人ノ眼前ニ出シテ屢々其物躰ノ印象ヲ深厚ナラシムルヨリ他ニ方法アルコトナシ。之レ幼稚ノ際智識ヲ得ルコトノ極メテ困難ナル所以ナリ。彼ノ幼童ガ一ノ仕事ヲ數十回反覆シテ少シモ倦ムコトナキハ正シク此心情ノ尙未タ全ク去ラザルニ依ルモノナルベシ。此事ニ關スル左ノ説話アリ。

教

授

法

一水夫曾テエスキモーヲ誘ヒテ倫敦ヲ見物セシメントセリ。航海ノ途中水夫等ハ彼等ガ倫敦ニ至ルヤ必ズ其都府ノ奇麗ヲ見テ驚嘆スルナラント初ヨリ其狀態ヲ想像シテ竊ニ喜ベリ。然ルニ彼輩ハエスキモーガ倫敦ニ着シ全ク平氣ニテ其市街ヲ散歩シ更ニ驚ケルノ狀ナキヲ見テ大ニ失望シタリ云云。

之レエスキモーハ倫敦ノ壯觀ヲ目撃シテ其壯觀タルコトヲ知ル所以ノ比較的觀念ヲ己ガ心意ニ有セザリシヲ以テナリ。故ニ若此土人ヲ其壯觀タル所以ヲ知ラシメント欲セハ彼ヲシテ其氷窟ヲ出テ、陋屋ニ住居シ其褻居ノ有様ヲ變テ粗末ナガラ陋屋ノ立チ並ベル市街ノ躰裁ヲ目撃セシメ置クベシ。然ルモ其陋屋及ヒ卑穢ナル市街ノ觀念ハ倫敦ヲ見ルヤ忽チ己ガ意識ニ呼ビ出サレ双方ノ比較ニ依リ茲ニ初テ其大ナル美ナルコト奇ナルコトヲ認知セシムベキナリ。

以上ノ實例ニ依リ吾人ハ左ノ論結ヲナスコトヲ得ベシ。
一吾人ガ新智識ヲ得ルニ其場合三アリ。
イ、新ニ覺官ニ來ルモノ、已得ノ觀念ト全ク同一ナル場合
ロ、新印象ノ已得ノ觀念ト多小ノ聯絡若クハ關係ヲ有スル場合

ハ、新印象ニ對シテ、モ關係的觀念ヲキ、場合之レナリ
 第一ノ場合ニ於テハ心意ハ新印象ヲ認知スルコト極メテ容易ナル代ニハ、新觀念
 ナ受納セズシテ、舊觀念ヲ深厚ナラシムルニテ終ルコト。

第二ノ場合ニ於テハ、心意ノ作用第一ノ場合ニ於ルガ如ク容易ナラズト雖モ、其結
 果トシテ新觀念ヲ得ルニ至ルコト。而シテ其新觀念ヲ得ルニ至ルベキ心意作用ノ
 難易ハ、實ニ左ノ如ク區別スルコトヲ得ベシ。

イ、新印象ニ關係ヲ有スル舊觀念ノ多少。
 ロ、舊觀念ノ新印象ニ關係ヲ有スルノ多少。

而シテ新來者ニ關係ヲ有スルコトノ多キ舊觀念ノ數成ルベク多ク心意ニ現在ス
 ル程、新觀念ヲ得ルコト易ク、之ニ反シテ新印象ニ關係ヲ有スルコト少ナキ觀念ノ
 數少ナキ程之ヲ得ンコト難シ。

第三ノ場合ニ於テハ、吾人ハ其當時ニ於テ新觀念ヲ得ンコト全ク能ハズ、必ズ茲後
 再三ノ反覆ヲ重ヌルニアラザレバ能ハザル。然ル時ハ即第一ノ場合ニナル。
 之ニ依リテ觀レバ、新事物ヲ教授セント欲スルモノハ、先ツ之ニ先キヲテ其事物
 ノ觀念ニ多少ノ關係アルモノヲ成ルベク多ク其人ノ心中ニ呼ビ起サシムベキコ
 ト之レ第一ノ要務ナリ。心意作用ハ極メテ經濟的ノモノニシテ又々經濟的ニ働カ
 ノコトヲ欲スルモノナリ。故ニ新觀念中、少シニテモ已得ノ觀念中ニ關係ヲ有スル
 部分アルコトヲ知ラシムルトキハ、其部分ニ對シテハ再ヒ新奇ナル心意作用ヲ起
 スコトナク、其代ニ舊觀念ヲ再ヒ意識ニ呼ビ起シ、一ハ以テ舊觀念ヲ一層確實ナラ
 シメ、一ヲ以テ新觀念ノ全部ヲ組織スルノ勞苦ヲ減省スベシ。カク心意ノ勞力ヲ成
 ルベク減省スルコトヲ得セシメ、務メテ、經濟的ニ作用セシムベキ要情ヲ攻究スル
 一、實ニ教授ノ際最初ニ起ル所ノ問題ナリトス。此問題ヲ解釋スルガ爲ニ如何ナル
 手段ヲ採用スベキカ、ソハ次節ニ審カナリ。

第二節 第一形式期豫備

心意ヲシテ成ルベク其作用ノ勞苦ヲ省減スルコトヲ得、從テ心意作用ヲ最モ經濟
 的ニ營爲セシムベキ教授ノ第一步ヲ豫備トナス。豫備ノ目的トスル所ハ、新智識ヲ
 提示スルニ當リテ、成ルベク容易ニ之ヲ收得セシムルコトヲ得ルニ至ラシムルヤ
 ウ、生徒ノ心情ヲ整頓スルニ在リ、今突然生徒ノ前ニ自己ノ教授セント欲スル材料

教

授

法

ヲ提出セシカ。生徒ノ心意ハ暫クハ其事物ニ向ヒテ己ガ心意ヲ整頓スルガ爲メ、即
 其物ニ向ヒテ己ガ注意ヲ凝聚スルガ爲メ、新ナル材料ニ向ヒテハ何等ノ作用ヲモ
 ナスコト能ハザルベシ。而シテ其注意ヲ凝聚シ得タル時ト雖モ、其心意ノ整頓ヲナ
 スベキ時間ノ極メテ切迫ナルガ爲メ、或ハ關係的關係ノ現出セザルモノアルベク、
 又タ現出スルモ適切ノ秩序ヲ以テ發現セザルモノアルベク、更ニ又タ新材料ヲ
 取得スルガ爲メ、却テ防害トナルベキ觀念ノ猶未意識ノ一隅ニ存在スルモノモア
 ルベシカ、ル情狀ニテハ、決シテ完全ナル智識ヲ得セシムルコト能ハザルモノナ
 リ。之レ即豫備ノ必要ナル所以ナリ。

豫備ヲナスガ爲メ、教師ノ第一ニ爲スベキ事業ハ、教授ノ目的ヲ話ス、コト之レナリ
 即今日ハ何をノ事項ヲ教授スト云ヘルコトヲ極メテ簡明ナル語ヲ以テ指示スル
 コト之レナリ。之ニ依リテ生徒ハ先ツ今教授ヲ受ケントスル新智識ニ對シテ、自然
 ニ現出スベキ觀念ヲ意識ニ呼ヒ起シ、之ト同時ニ此事項ニ關係ナキモノヲ意識ノ
 外ニ驅逐スルコトヲ得ベシ。然レモ當ニ目的ヲ談スルノミニテハ、未タ以テ必要ナ
 ル諸觀念ヲ悉ク再現セシムルコトヲ得ザルヲ以テ、更ニ他ノ手段ヲ施サザルベカ
 ラズ。即

教

授

法

第三生徒ノ思想ヲ分析シテ、今教授セントスル關係ヲ有スルモノト否ラザルモノ
 トニ區別シ、其關係ヲ有スルモノハ悉ク意識ニ呼ヒ起シ、其否ラザルモノハ悉ク之
 ヲ驅逐スルコト之レナリ。假令ハ生徒ノ心中ニ目的ヲ説明セラレタルタケニテハ、未
 タ意識ニ現出スヘキ勢力ナキモノモアルベク、又タ生徒既得ノ智識ニ付キテ、少シ
 ク修正追加フルモノハ、直ニ新材料ニ向フテ適切ナル豫備的觀念トナシテ、現出セシ
 ムルコトヲ得ルモノモアルベシ。此等ハ悉ク意識ニ現出スルノ方法ヲ用、非ザルベ
 カラズ。而シテ其既ニ意識ニ現出シタル諸觀念ハ、又タ之ヲ新智識ノ順序ニ適合ス
 ベキ秩序ヲ以テ、整頓セラレザルヘカラス。此ノ如ク新智識ト多少ノ關係アルモノ
 同時ニ意識ニ復現セシメ、之ヲ適切ナル順序ヲ以テ整頓シテ一團トナシ、恰モ蜘蛛
 絲ガ四方ニ其網ヲ擴張シテ、昆虫ノ來ヲ須ツカ如クシ、然ル後其中心ニ向ツテ、新智
 識ヲ好餌ヲ投入スルトキハ、生徒ノ心意ニ能ク之ヲ摑捕シテ、直ニ自己ノ智識ト
 消化シ了ルニ至ランコト必セリ。

第三此ノ如キ豫備的作用ハ、如何ナル躰裁ヲ以テ爲スベキト云フニ、問答法之レナ

リ、教員ハ極メテ平和ナル語調ト、温厚ナル容貌トヲ以テ生徒ニ接シ、己ガ知ラント欲スル事項ニ付キテ發問シ、生徒ヲシテ毫モ伏藏ナク自己ノ思想ヲ發洩スルニ至ラシメシコトヲ要ス、之レ豫備期ノ目的トスル所ハ、勉メテ生徒ノ思想ヲ自由ニ吐露セシメ、如何ナル關係的觀念ヲ有スルヤヲ知ルニ在レバナリ。故ニ苟クモ生徒ヲ試験スルガ如ク感知セシムルカ、若クハ教師ヲ畏怖スルノ心ヲ抱カシムヘキ語調ヲ發スルハ最モ忌ムヘキコトナリ。

又タ豫備期ノ際ニハ、固ヨリ新智識ヲ混同スベカラズト雖モ、其所謂問答ヲ試ルノ際、文章家ノ所謂伏線法ヲ用キ、生徒ヲシテ暗ニ今教授ヲ受クベキ事項ノ如何ナラシカテ想像セシムルコトハ之レ新教授ニ對シテ、注意ト興味トヲ喚起スルノ方法ナルヲ以テ、之ヲ採用スルコト固ヨリ不可ナシ、彼ノ功妙ハ演劇ノ初幕ガ能ク觀客ヲシテ其次幕ノ如何ヲ豫想セシムルニ足レル伏線ヲ寓スルガ如ク、教師モ其以前ニ教授シタル事項ヲ問答スルノ際、生徒ハ之ニ依テ今回ノ教授ノ如何ヲ多少豫想スルコトヲ得ルニ至ラシムベキナリ。

第三節 第一形式期提示

前回既ニ教授ト云フコトノ第一步ハ、豫備ニ在リ、豫備ノ第一目的ハ、生徒ノ心意ヲシテ恰モ教授ヲ受クルニ適シタル心情ヲ保タシムルニ在ル所以ヲ説明シタリ、然レモ此説明ハ勿論生徒ノ心中ニ多少ノ關係的關係ヲ有スルモノト假定シタル場合、即所謂前實例第二ノ場合ニ限レルコト明カナリ、第一場合ニハ固ヨリ新智識ヲ得ザルヲ以テ之ニ向フテ豫備ノ要ナク、第三ノ場合ニ至リテハ全ク吾人ノ心意作用ヲ施スニ由ナキヲ以テ所謂豫備ヲ爲スコト能ハザルベシ、茲ニ於テカ吾人ハ知ル、教授ハ教師ノ教ユル作用ニハアラスシテ、生徒ノ覺ユル作用ナルコトヲ、語ヲ換ヘテ云フハ、教師ノ教授セント欲スルモノハ、何事ニテモ教授シ得ベキモノニハアラスシテ、何事ト雖モ生徒ノ心情ニ適合セザルモノハ之ヲ教授スルコト能ハザルコトヲ、教授ノ際ニ於ケル主動者ハ教師ニアラスシテ生徒ナリ、教授ハ生徒ガ進テ教授ノ材料ヲ自己ノ心意ニ相捕スルノ作用ニシテ教師ハ唯生徒ガ此作用ヲ營爲スルカ爲ニ最モ適切ナル心情ヲ保タシムル機又タ其心情ニ尤モ適切ナル機、新教授ノ材料ヲ生徒ノ前ニ提示スル補助者ト謂フベシ、教師ノ生徒ニ於ケル地位ハ、彫刻者ガ自ラ己カ取扱フ材料ヲ自己ノ意匠ニ任セテ形作ルガ如キモノニアラ

ズシテ、恰モ園丁ガ其植物ヲ養育スルガ如キ地位ニアルモノナリ。即教師ハ唯兒童ノ自ラ發達スルニ適切ナル注意ト保護トヲ要スルモノト謂フベシ。故ニ提示ノ際、第一ニ研究スベキ問題ハ、如何ナル心情ヲ保テル兒童ニ向テ、教授ヲナスヤト云ヘルコト之レナリ。此點ニ於テ、攻究スベキハ、兒童心身發達ノ時期之レナリ。

法 授 教

人間ガ成長期即社會ニ立チテ獨立ノ生活ヲ營爲スルニ至ルマデノ時間ハ、動物界中最モ長クシテ、殆ド全生活期ノ三分一ニ渉ル。之ニ反シテ動物中ノ最モ伶俐ナルモノハ、一ナル馬ハ、三十歳ノ年齢ヲ保ツニ、其成長期ハ僅ニ四歳、即僅ニ七分の一以上ニ當ル。之レ人間ガ教育ヲ受クルコトノ必要ヲ他動物ヨリ餘計ニ持ツ代ニ、又々他動物ニ卓越シタル意性ヲ備フルコトヲ得ル所以ナリ。サテ其成長期即生シテヨリ二十一歳乃至二十四歳マデノ間ハ三期ニ大別スルコトヲ得ルモノニシテ、即幼稚期、少年期、青年期之レナリ。

法 授 教

運動シ、遊戯ニ餘念ナキノ時期ニシテ、精神ヨリ云フニハ、覺官ノ發動最モ盛ニシテ、之ニ依リテ吾人ガ精神作用ノ最モ粗製的材料ヲ得ルノ時期ナリ。即兒童ハ此時期ニ於テ無心ニ變シテ少シツ、所謂心ガ出來、本來無一物ナル意識ノ海中所々ニ智識ノ島嶼ヲ現出シ來リ、種々ノ事物ヲ認識シ、區別シ、又々言語ヲ習ヒ、將テ其名稱ヲモ知ルニ至ルノ時ナリ。故ニ此時期ハ家庭教育若クハ幼稚園ノ時期ナリ。第二期即滿六歳ヨリ滿十四歳ハ所謂少年期ニシテ、最モ學校教育ニ適切ナル時期ナルヲ以テ、之ヲ學齡期トモ云ヒ、兒童ガ學校ニ於ケル普通教育ヲ受クベキ時ナリトス。此時期ヨリハ己ニ精神ハ身軀ノ上ニ凌駕シテ漸ク之ヲ使役スルコトヲ得ルニ至ル而シテ、其心意ハ記憶カ最モ盛ニシテ、第一期ニ得タル粗製的材料ニ基キテ、學校ニテ教授セラレ學識ヲ得ルノ時期ナリ。又々器械的熟練ヲ得ルニモ、此時期ヨリ初ムベキモノニシテ、所謂職工タラシモノガ年期子僧ニテ生活スルノ時期ナリ。此時期ハ又々之ヲ記憶期トモ稱ス。

第三期ハ即青年期ニシテ、二十一歳乃至二十四歳マデノ時期ヲ云フ。此時期ハ又々思考期ト云ヒ、學校ニテ習ヒ得タル學識若クハ自己ノ經驗ニ依リテ得タル智識ヲ

精成スルノ時代ニシテ、人間ノ理性ヲ最モ完全ニ發動セシムルノ時期ナリ、此時期ニ於テ男女ノ性質自ラ判然トシテ區別セラレ、已ニ各々獨立自營ノ始ル所ナリ故ニ兒童ハ漸ク普通教育其終ヲ告ケテ所謂男兒決志出鄉關ノ詩ヲ唱ヘテ遠方ニ留學シ、大學若クハ其他ノ專門學校ニ入ルカ若クハ社會ニ出テ、特殊ノ業務ニ就業スルノ時期トス。

右ハ人間心身發達ノ時期ニ關シテ其大要ヲ說述シタルモノナリ此略說ニ依リテ考フルモ、全軀人間ノ心身發達ノ有様ハ、如何様ニ進歩スル者ナリヤノ一事ニ付キテ、其次第ヲ窺フコトヲ得ン、即人間發達ノ次第ヲ概言スルハ、其第一時期ニ於テ心身ノ發達相平均シテ進ムノ時ニハ、未ダ心意ヲ以テ己ガ身軀ヲ支配スルコトヲ許サザルモノニシテ、未ダ己ガ身軀ト稱スルヲ能ハザルモノナリ、兒童己ニ己ガ身軀ヲ覺知スルコトヲ得ズ、况ンヤ外界ノ事物ヲヤ、彼ハ全ク外界ノ己ヲ刺激スルガ儘ニ一任シテ、自ラ進テ彼ヲ制馭スルコトハ毫末モ爲シ得ザルナリ、然ルニ第二時代ニ至ルニ及ベバ、心意ハ漸ク無覺ノ時代ヨリ、其睡眠ヲ攪破セラル、コトヲテ先ヅ自己ノ身軀ヲ覺知シ、心意ノ從順ナル奴隸トシテ之ヲ使役スルノ方法ヲ自得之、之レヨリ漸次ニ外界事物ノ本性ヲ知得シ、更ニ進テ又タ彼ヲ利用セントスルノ心意作用ノ苦心ヲ起スニ至ル、然レハ彼ハ己ニ目前ノ事物ニ對シテ之ヲ利用シ、之ニ應スルノ智識ヲ得ルモ、未ダ能ク未來ヲ窺ヒ知ルコト能ハザルナリ、一事一物ニ付キテ之ヲ精察スルコトヲ得ルモ、數多ノ事物ヲ包括スル普通ノ事理ヲ窮ムルコト能ハザルナリ、然ルニ第三時代ニ於テ理性ノ漸ク發達スルニ從ヒ、能ク已然ノ關係ヲ按ジテ、更ニ未來ノ關係ヲ推度スルニ至ル、即チ彼ハ因果ノ關係ノ畫一不變ナルコトヲ確信シ、能ク現在ヲ以テ未來ヲ判知スルニ至レルナリ、茲ニ於テカ己ガ咫尺ノ間ニ在ル現在ノ事物ハ勿論、己ガ足跡ノ至ラザル所ニ在リテ、現在ニ之ヲ知ルコト能ハザル事物ヲモ、能ク之ヲ利用シテ己ガ使役ニ供シ、又タ能ク其必然ノ真理ヲ發揮スルコトヲ得ルニ至ルベシ、之レヨリ以往ハ其人ノ智力益々發達スルニ從ヒテ、其人ノ心意ニ識得スベキ範圍ハ、時間ト空間トニ於テ擴張セラル、コト限リテ、能ク太陽系以外ノ星辰ヲ觀測シテ、幾萬年ノ後ニ起ルベキ現象ヲモ豫定スルコトヲ得ルニ至ルベシ、而シテ竟ニ己ガ心意ニ天地間ノ森羅萬象ヲ悉ク包容シ、孟子ノ所謂萬物皆備於我矣トカ釋迦ノ所謂天上天下唯我獨尊トカ云ヘル所謂

豁然大悟ノ域ヲ達スルヲ至リテ止マシ故ニ吾人ノ心意作用ノ發達ハ無覺ヨリ有覺ニ進ミ受動的ヨリ能動的ニ進ミ外物ノ制馭ヲ受ク外界ノ爲ニ支配セラレヨリ起リテ外界ヲ支配シ之ヲ制服シテ天地萬物ヲ悉ク我ノ一點ニ包容スルニ至ルモノト謂フベシ。

心意發達ノ次第果シテ此ノ如シトスレバ教授ノ材料ヲ選擇スルニ當リテハ先ツ第一ニ此發達ノ程度ニ適合スル様注意セザルベカラズ。何トモレバ己ニ云ヘルガ如ク教員ハ教授ノ主動者ニハアラズシテ生徒コソ新智識ノ獲得者ナルヲ以テ生徒ノ心意ニ今教授セント欲スル材料ヲ説明スルモ自己ノ心意ニ之ヲ收納スルニ足ルベキ舊觀念ナキハ決シテ之ヲ自己ノ所有トナスコト能ハザレバナリ。假令ハ第一期若クハ第二期ノ發達程度ニアル生徒ニ向フテ適當ナル道理力ヲ使用スヘキ材料ヲ附與ストセンカ之レ恰モ愚夫愚婦ニ向フテ大乘ノ真理ヲ説教スルト同ク誰カ之ヲ識得セシムルコト得ズ。無縁ノ衆生ハ濟度シ難キト均シク無關係ノ智識ハ到底兒童ニ知ラシムルコト能ハザルナリ。然ラバ則如何シテカハル心意發達ノ程度ニ適合スルベキ材料ヲ得ベキヤ之ヲ選擇スルノ方法ハ如何之レ次ニ研

究スルニヤ問題ナリ

今之ヲ研究スベキ方法ヲ案スルニ蓋シ左ノ二條アリ。

一、吾人が自ら兒童ニテアリシ當時ノ情態ヲ省察スルカ若クハ今將ニ其發達期ニ際會シ居ル兒童ニ付キテ其嗜好スル所ノ材料ハ如何ナル種類ナリヤヲ究ムル

二、吾人々類ガ未タ發達セザリシ當時ニ於テ著作シタル文學記録ハ如何ナル性質ヲ有スルヤヲ研究スルカ然ラザレバ當時尙未發達ノ程度ニアル野蠻人民ノ好ム所ノ材料ノ性質ハ如何ナルヤヲ知ルコト之レナリ。

此二途ニソ實ニ適切ナル針路ト稱スベシ。今先ツ第一ノ方法ニ付キテ述ベンニ先ツ吾人が兒童ニテアリシ當時代ノ情態ヲ追懷スルコトハ果シテ完全ニナシ得ベキカ否ヤト云フニ吾人が稍成長シタル後三年以上ニテ起レルコトハ之ヲ記憶スルコト固ヨリ難カラズト雖モ所謂無覺ノ時代ニテアリシ當時ノ事ハ之ヲ追懷スルコト殆ト難シ。且其後ト雖モ其智識精確ナルコト能ハズ。故ニ第一ノ方法ニテ專ラ依頼スベキハ今正ニ其發達ノ程度ニアル兒童ニ付キテ其好ム所ヲ研究スルノ一事ニ在

法 授 教

リ吾人が當時代ノ追懐ハ唯々之ガ補助的方法トシテ要用ナルノミ。今兒童ニ付キテ此點ヲ研究スルニ第一期ノ後期ヨリ第二期ノ初期ニ涉リ即幼稚園ヨリ小學校ノ初年級ニ涉リテ最モ著シキモノハ其昔話假作物語ノ嗜好心ニ在リ之レハ獨リ我國ノ兒童ニ付キテ然ルノミナラズ各國ノ兒童皆然ラザルハナシ。即何レノ國ト雖也兒童カ此嗜好心ヲ満足セシムベキ文學ヲ有セザルナシ。此點ニ於テハ吾人モ亦タ判然ト記臆スベシ。幼時其祖母ノ膝上ニ坐シテ桃太郎ヤ鬼ガ島ノ復讐猿蟹合戦花咲翁舌切雀カチノ山ノ如キ昔話ヲ最モ愉快ニ最モ熱心ニ聽キタルコトヲ而シテ其之ヲ聞カント欲スルノ熱心ナルコトハ之ガ爲ニ己カ手足ヲ勞シテ祖母ノ命ヲ聞キ己ガ慾望ヲ節シテモ尙之ヲ聞カザランコトヲ恐ル、ノ有様ヲ以テ知ルコトヲ得ベシ。西洋ニテモ彼ノ有名ナル希臘ノエソプ物語ノ如キ獨逸ノ有名ナルグリムノ「トアヘン」ノ如キ其他各國何レモ此種ノ說話ヲ有セザルハナシ。吾人ハ茲ニ於テカ兒童ノ嗜好スル第一ノ材料ヲ得タリ。

法 授 教

然レ也吾人ハ退テ熱考セザルベカラズ何故各國ノ兒童ハ其發達ノ初期ニ於テカ種々ノ種類ノ材料ヲ好ムヤ其理由ハ如何ト今其理由ヲ研究スルハ初メテ兒童ガ之ヲ好ムハ偶然ナラザルヲ知ルベシ。大凡兒童初期ノ心情ノ最モ著シキ特徴ハ世界事物ノ外形ヲ見テ其如何ヲ知ルモ其事物ノ真相ヲ窺フ能ハザルコト之レナリ。彼レ兒童ハ木葉ノ動クヲ見ルモ之レヲ動カス原動力ヲ看破スルコト能ハズ他兒童ノ石ヲ擲ツテ知ルモ運動ヲ起ス主動力ヲ窺フコト能ハズ故ニ運動ト云フ運動ハ悉ク同様ノモノト思考シ其間ニ毫末モ辨別スル所アラザルナリ。故ニ木葉動クヲ見テハ己ガ足ヲ動スト同様ナリト思ヒ蝸牛ノ角ヲ出スハ彼ガ懷裏ヨリ手ヲ出スト全ク異ナラザルコト、思フ故ニ無心ノ草木ヲ遇スルニ有心ノ人間ヲ遇スルガ如クシ蝸牛ニ向ツテ喃々タルコトハ恰モ己カ朋友若クハ父母ニ對スルホノ如シ一言スレバ彼ノ心情ハ未タ人類界ト外界トノ區別ヲナスコト能ハズ能ク其間ニ存スル微妙ナル區分ヲ辨識シテ木葉ノ動クハ木葉外ノ自然力之ヲ動シ己ガ手ヲ動スハ心内ノ精神作用ニ依ルコトヲ知ルコト能ハザルナリ之レ實ニ兒童ノ本性ナリ。成長シタル人ニ於テハ己ニ全ク此ノ如キ心情ヲ有スルモノナシト雖モ矢張幾分カ此誇ヲ免レザル人多シ。假令ハ今日ニテモ矢張蝠蝠ヲ鳥類ト誤認シ鯨ヲ魚類ト考フル人ハ實ニ多カラシ之レ恰モ兒童ガ外形ニ依リテ事物ヲ判斷スルト

同一ノ誤謬ニ陥レルモノト謂フベシカ、ル情態ニテアル兒童ナルヲ以テ、彼ノ昔話ノ如キ木ヲシテ言語ヲ發セシメ、蟹ヲシテ人間ノ行爲ヲサシムルガ如キ、所謂外界ノ事物ヲ以テ悉ク人類界ト同一視シ、人間ト同一ノ意志精神ヲ以テ作用スルモノト見做セル昔話ヲ嗜好スル所以ナリ。カ、ル心情ノ兒童ニ向ヒ、其間ノ區分ヲ説キ、猿ハ人間ノ如キ行爲ヲナスモノニアラス、蟹ハ人類ノ如キ精神ヲ有セズト説クコソ、却テ心裏ニ混雜ヲ惹キ起ス基トナルベクシ。故ニ各國ノ兒童ガ昔話ヲ好ムハ、其心情恰モ強クカ、ル説話ヲ聽クニ適切ナルガ故ニ好ムモノニテ、決シテ偶然ニアラザルヲ知ルベシ。

事ノ序ニ一言シ置クベシ世ニ兒童ヲ稱シテ生レナガラノ詩人ト稱ス。之ヲ轉倒シテ詩人ハ時々ニ兒童ト同一ノ心情ヲ保クントスル成人ナリト謂フコトモ、決シテ全クノ失言ニハアラザルコト之レナリ。何トナレバ詩人ハ特トニ人類界ト自然界トノ區別ヲ打消シ、自然ノ事物ヲハ恰モ人類ト同一ノ精神ヲ有スルモノト見做スモノナレバナリ。假令ハ吾人ノ能ク知レルハ、ちすばのにこりにそまぬ心もてなにかはのゆを玉とあざむく、有名ナル歌ノ如キ朝顔にのるべとられてもらひ水有

名ナル發句ノ如キ、何レモ其妙所ハ無心ノ草木ノ動作ヲ以テ巧ニ人類ノ行爲ノ如ク説ヲ出シタル所ニ在リ、故ニ詩歌ハ此點ヨリ云キハ兒童ノ時代ノ快樂ヲ發達ノ後マデ借受スルモノト謂フベキカ。

既ニ進テ第二期ノ半バニ達シ、心身ノ發動非常ニ旺盛トナリ、所謂イタヅラ盛リト稱スル時期ヨリ以上ニ至レバ、兒童ハ最早此ノ如キ受動的説話ニ満足ヲ表セズ、自ラ進テ活動的ノ事業ヲ遂行スル物語類ヲ嗜好スルニ至ル。此時期ニ至レバ最早簡短ナル昔話類ヲ以テ父母ノ膝下ニ拘留スルコト能ハズ、寧ロ冒險的ニ自己ノ活動ヲ外ニ向フテ施スベキ機會ヲ得ンコトヲ望ミ、所謂石見重太郎ノ如キ、宮本武藏ノ如キ、又タ更ニ進ンテハ信玄謙信ノ川中島太閤武智ノ山崎合戦ノ如キ、有爲ノ人物ガ經營セル、絶大ノ偉業ヲ聞テ、樂ムノ時機トナル。此時期ニアツテハ、其身躰薄弱ナルカ、若クハ病狀ヲ呈セザルモノタル以上ハ、何レモ好マテ山野ヲ跋渉シ、冒險活動ノ遊戯ヲ樂ムモノナリ。西洋ニテモ彼ノ有名ナル魯敏孫クルーソーノ物語ヲ稱シテ、兒童ノバイナルト稱スル程、普ク一般ニ兒童ノ好讀スル所トナルヲ見レバ、彼國ノ兒童モ亦々同一ノ嗜好ヲ有スルモノト謂フベシ。魯敏孫ガ許多ノ艱難ナル境遇

之經ヲ竟ニ絶島ニ孤定ノ身トナリ夫レヨリ自己ノ活動力ニ訴ヘテ漸次ニ衣食住
 ノ自由ヲ得竟ニハ人間ラシキ生活ヲ營ム事ヲ得ルニ至ルマデノ歴史ハ何レモ己
 ガ活動力ヲ以テ外物ヲ制馭スル活歴史ナルヲ以テ最モ能ク此時期ノ兒童ノ嗜好
 心ニ投シテ彼ガ勇敢冒險ノ氣象ヲ養成スルモノト謂フベシ英吉利人今日ノ偉業
 ハ多少魯敏孫好讀ノ結果アルヲ疑フ容ルベカラザルナリ
 之レヨリ第三期ニ達スルニ至レバ各人漸ク其特性ノ發達スル方向ニ從ツテ各々
 其嗜好ヲ異ニシ少年ノ嗜好益發達シテ航海者軍人タラント欲スルモノト第二期
 ノ特性其發動盛ナラズシテ寧ロ深遠ノ思考ヲ好ムモノト又タ手工ニ熟練ノ才能
 ヲ有シテ技術家タラント欲スルモノ、如キ何レモ其人ノ特質漸ク現レテ各人社
 會ノ事業ヲ負擔スベキ端緒ヲ開クニ至ルベシ然レモ此時期ニ於テ兒童ノ思考力
 漸次ニ發達シ爲ニ非常ノ空想ノ爲ニ其行爲ヲ支配セラル、コトナリ所謂道理上
 出來ウベキ範圍内ニ於テ着實ノ志望ヲ抱クニ至ルハ之レ其後期ヨリ已ニ成年期
 ノ後ニ在リ其初期ニ於テハ其心志尙ハ飄然トシテ定ラズ一時ノ迷想ノ爲ニ其一
 身ヲ曝ルニ至ルベキ危險最モ多シ即之レ中學校後期ヨリ高等中學校初期ノ生徒

(110)

ノ年齡ナリ之レ實ニ人間一生ノ尤重大ナル時期ニシテ多數ノ人間ノ價格ハ實ニ
 此時代ノ發達ニ依リテ定マルモノトス故ニ此發達期ニ在ル生徒ハ概シテ之ヲ言
 フトハ一事一物ニ付キテ詳細ナル事項ヲ吟味スルガ如キハ區々タル瑣細ノ事物
 ニ汲々タリトシテ最モ厭フ所ニシテ勉メテ比較的推論的ニ説明セラレタル概括
 的ノ材料ヲ好ム歴史ニテ云ヘバ精密ナル特殊ノ事實ヲ引證シテ精確ナル議論ヲ
 ナスコトハ寧ロ其欲セサル所ニシテ漠然タル文明史の史論即所謂日本外史論
 文的ノ史論ヲ好ムノ傾アリ小心文ハ未タ其嗜好ニ適セズシテ籬枝大葉ノ放膽文
 コソ實ニ其得意トスル所ナリ故ニ一方ニ於テハ着實ナル推論ニ依リテ緻密ナル
 思考ヲ費スベキ所謂數學ノ如キ學科ヲ以テ其極端ニ走ルノ弊ヲ制スルノ必要アリ
 然レモ之蓋シ多數ノ生徒ノ欲セサル所ナリ此等ノ嗜好心ハ皆諸君ガ自ラ既往
 ヲ省察スレバ十分ニ了解シ得ラルベキ所ナリトス
 右ハ發達シツ、アル兒童ノ心狀ニ付キテ考察シタルモノナリ今ヤ其他ノ一方法
 即吾人々類ノ未タ開化セザリシ時代ニ於テ著作セラレタル文學記録ハ如何ナル
 性質ヲ有スルヤ今日尙未發達ノ情態ニ在ル未開人ノ嗜好スル所ノ材料ハ如何ト

(111)

云ハルゴトヲ容述セシニ

先ツ兒童ノ心意發達ノ程度ニ適シタル材料ヲ撰擇スルニ、何故此ノ如キ研究ヲ要スルヤト云フニ、ソハ左ニ説キ出ス理由ニ基クモノナリ。即

ヘルバルト、テレル派ノ語ヲ以テ云ハ、各兒童ハ其發達スル際ニ、世界ノ人類ガ太古ヨリ今日マテ、歴史的發達ヲ成セル間ニ經過シタル、思想ノ各期ヲ、悉ク通過シタルモノナリ。故ニ吾人が或ル年齢ノ兒童ニ對シテ提示スベキ教科ノ程度ハ、恰モ人類ガ今其兒童ノ模範的ニ代表シタル發達期ニアリシ當時ノモノト同一ナルベシト云フニ在リ。又タスベンサーノ語ヲ以テ云フニハ、

兒童ノ教育ハ、其方法ト配別トニ於テ、歴史的ニ考察セラレタル人類ノ教育ト一致セザルベカラズ。他ノ語ヲ以テ云ハ、各人ニ於ケル智識ノ發達ハ、人種ニ於ケル智識ノ發達ト同一ノ進路ヲ經過セルザベカラスト云フニ在リ。

須氏ハ其進化論ヨリシテ之ガ理由ヲ如何ニ説明シタルカ、氏ガ教育論ニ付キテ一讀スルノ價格ヲ有ス。

右ノ論據ニ依リテ考フルニハ、未開人ノ心意ハ恰モ其發達ノ程度恰モ或程度ノ兒

法 授 教

童ノ心意ト同シキヲ以テ、從フテ其嗜好スル所ノ材料ノ種類モ亦同シカラザルヲ得ズ。果シテ然ラバ古人ノ著作ニシテ、其時代ノ人民ニ依リテ、廣ク好讀セラレ、從フテ今日マテ傳ハレル著作ノ如キハ、恰モ未タ開發セザル心意ヲ有スルノ人が、之ヲ作リテ、恰モ未タ開發セザル當時代ノ民心ニ適シタルモノナレバ、今日材料ヲ以テ、之ト恰モ同一ノ發達程度ニ在ル兒童ニ讀マシムルニハ、必ず之ヲ愛讀スル事必セリ。且ツ其今日ニ殘留スル古人ノ遺書ノ如キハ、既ニ數十代ノ間、自然ノ淘汰ヲ經テ今日ニ傳ハレルモノナレバ、其材料ノ最モ精選セラレタルモノナルヲ、從ツテ今一時ニ著作シタルモノヨリハ能ク兒童ノ心情ニ投合スルヲ必セリ。故ニ此ノ如キ著作ヲ探究シテ、其兒童ノ教育ニ最モ適切ナルモノヲ撰擇スルヲ、亦タ兒童ノ心意發達ノ程度ニ適合シタル材料撰擇ヲスルノ一良法タルヲ明カナリトス。

各國ノ歴史ヲ按ズルニ、其發端ニハ所謂神人無別ノ時代アリテ、半ハ歴史的ノ事實ヲ包含スルモ、半ハ荒誕ニ屬シタル傳紀ヲ有セザル所ナシ。此時代ノ記録ハ、今日ヨリ之ヲ視レバ固ヨリ眞ノ歴史的ノ事實トシテ、信ヲ措クニ足ラズト雖也。其國民ノ發達上ニハ實ニ至大ノ勢力ヲ有シ、其中ニ記載セラレタル事實ヲ考フルニアラザレ

教

授

法

ハ其ノ國民ノ開化ハ本源ヲ窺ヒ知ルコトヲ得ザルモノ多シ我國ノ神代記希臘ノ
 ホーメル物語羅馬ノ共和時代以前ノ傳説ノ如キ之レナリ若我國ノ神代史ヲ以テ
 無稽觀ルニ足ラズトシテ放擲センカ今日吾人ノ風俗習慣思想德義一言ニテ云フ
 所ハ國體ノ上ニ於テ之ガ基本ヲナス所ノモノ多數ハ之ヲ解スルコト能ハザルニ
 至ルベシ猶希臘ノ國民的精神ガホーメル物語ニ依テ維持セラレタルガ如シ
 今此ノ如ク一國民ニ取リテ重要ナル建國發端ノ歴史ニシテ何が故ニ常ニ此ク模
 糊トシテ精確ナラザルヤト云フニ之レ恰モ當時未發達ノ人智ヲ反射スルモノナ
 レバナリ其人智ノ發達ハ恰モ幼稚ノ兒童ノ如ク未タ一ノ事實ニ就キ時間ト空間
 トニ於テ精細ナル觀察ヲ遂グルコト能ハス就中歴史的現象ノ因果ノ關係ニ至テ
 ハ其最モ單一ニシテ明瞭ナルモノ外ハ何レモ之ヲ看破スルニハ稍々高尙ナル
 思考力ヲ要スルヲ以テ之ヲ察知スルコト其最モ難ズル所ナリ之レ當時ノ人心
 ニ最モ大ナル感動ヲ與ヘタル事實若クハ事實ト確信シタルモノヲ或ハ口碑ニ依
 リ或ハ之ヲ記載シ以テ今日ニ傳ハレルコトナレル所以ナリ故ニ此種ノ材料中
 ヲリ教授ノ好資料タルベキモノヲ採用シ之ニ今日ノ教育ニ最モ適切ナル斟酌ヲ
 加フルトハ恰モ當時代ノ民心ト其發達ノ程度ト同クスル未丁年者ノ嗜好ニ適ス
 ルヤ衰アルベカラズ人文科ノ智識就中修身歴史科ノ材料ノ如キハ主トシテ此ノ
 如キ一國ノ文學書類ヨリ撰擇スベキモノトス我國ニテハ古事紀日本書紀ヲ初ト
 シ中古ノ源平盛衰肥太平記ノ如キ其他ノ傳記物語類ノ如キ此點ヨリシテ考フル
 所ハ實ニ教育上最モ必要ナルモノト謂フベシ而シテ其今日尙ホ未開ノ境遇ニ在
 ル民種ノ好シテ談話シ唱和スル所ノ詩歌若クハ口碑ノ亦タ漠然タル此種ノ物語
 類タルコトハ有名ナル探檢者ノ旅行紀ニ徴シテ之ヲ知ルコトヲ得ベシ
 以上ノ諸點ヨリ考案シテ恰モ兒童ニ適合スル所ノ材料ヲ撰擇シ置クトキハ茲ニ
 初メテ教授ノ功績ヲ奏スルコトヲ得ルニ至ルベキナリ
 今提示ノ際ニ教師ノ爲スベキ順序方法概要ヲ説述セシニ
 一材料ヲ適宜ニ區分スルコト教授ノ材料ハ之ヲ教授セントスルニ當リ豫メ(一)其
 事實(二)教師ノ時間(三)兒童ノ年齢及ヒ其發達程度ニ從フテ適宜ニ區分シ置カシ
 トヲ要ス夫レ教師ノ材料ナルモノハ恰モ吾人ノ食料ノ如ク如何程能ク身軀ノ滋
 養ニ適シタル物ト雖也一時ニ之ヲ食スベキ分量ニハ自ラ制限ナカルベカラズ一

教

授

法

タレ此制限ヲ超過スルハ、滋養物モ却テ身軀ヲ害スルノ茶毒タルコト世人ノ常ニ實驗スル所ナリ、教授ノ材料亦タ之ト均シク、如何程能ク選擇シタルモノト雖モ其生徒ノ心意發達ノ程度ニ從ツテ、一時ニ教授スベキ分量ヲ規定セザルベカラズ、今一ノ學科ヲ教授セントスルニ當リテ、第一ニ考究スベキハ、其生徒ハ、一時ニ幾何ノ材料ヲ教授シ得ベキヤト云ヘルコト之レナリ、此分量ノ多少ニ從ヒ四十分間乃至一時間ニ涉レル授業時ヲ細別シテ、五分乃至十五分トナシ、其間一時ニ中絶スルコトナクシテ教授スベキ分量ヲ定ムベシ、此一時ニ教授スベキ材料ハ、固ヨリ一時間ニ教授スベキ材料ノ一部分タルコト恰モ一時間ノ材料ノ一週若クハ一前期ノ材料ノ一部分ヲ成スガ如シト雖然レモ又タ其區分シタル材料ノ各部分ハ自ラ首アリ尾アル一完全體ナラザルベカラズ、即教授ノ材料ハ、單ニ時間ノ制限ノミヲ目的トシ全ク偶然ニ區分スルガ如キコトアルベカラズ、彼ノ讀本若クハ歴史ヲ教授スルモノ、其ノ授業時間ノ許ス限リハ、毫モ中絶スル所ナクシテ講讀シ、時間ノ終ニ至リ、忽然中止シテ次回トノ區分ヲナスガ如キハ、最モ不可ナリ、此ノ如クスルハ、生徒ノ思想ハ其間常ニ教師ノ思想ノ道路ニ從フテ前進セザルベカラザルヲ以テ、其中ノ稍々遲鈍ナルモノニ至リテハ、忽チ中途ニシテ教師ト相隔絶シ、教授ノ終マテ終ニ之ヲ逐回復跡スルコト能ハズシテ已ムモノ多キト、其末尾ニ至リ、事實若クハ思想上、毫モ中絶ヲ許サザル點ニ至リテ、忽チ時間ノ爲ニ制セラレテ、之ヲ割愛スルヲ以テ前後ノ關係首尾ノ照應全ク之レナキニ至ルベシ之レ豫メ一時間ニ教授スベキ材料ヲ豫定シ、更ニ此一回ノ材料ヲ、生徒ノ年齢及ヒ其發達ノ特度ニ從ヒテ數回ニ區分シ、教授ハ此區分點ニ至レバ茲ニ一時ノ中止ヲナシテ、前キニ教授シタル部分ハ、生徒果シテ精確ニ理會シ得タルヤ否ヤヲ試問シ、再ヒ歩ヲ進メテ更ニ次ノ部分ヲ教授スルノ必要ナル所以ナリトス、

二、此ノ如ク區分シタル教授ノ材料ヲ教授スルニハ、初ニ其部分ノ全體ニ關スル概念ヲ得セシメ、然ル後其各部ヲ詳細ニ説明スルコトヲ以テ例トスベシ、若シ歴史修身ノ說話ノ如ク、第一回ニ教授スベキノ部分ハ、次回ニ教授スベキ部分ト、其關係極メテ密ニシテ、別ニ一部分ツ、ノ概念ヲ得セシムルノ要ナク、直ニ前回ニ次キテ説キ出スノ要アルモノハ、其部分ヲ話シ終リテ、其事實ヲ確保セシメタルノ後、其部分大體ニ關スル題目ヲ生徒ニ指示スベシ、然ラザレバ生徒思想ノ錯亂ヲ免ル、コト能

此ノ如ク生徒ノ一時ニ理會シ得ベキヤウ區分シタル材料ハ、授業時間ノ終ニ於テ莫ニ初ヨリ之ヲ總合シテ、一全帙トナサントナシテ忘ルベカラズ、其初メ教材ヲ小別セシハ生徒ノ能力能ク之ヲ一時ニ消化スルヲ能ハザルヲ以テ、假ニ之ヲ分割シタルモノナレバ、今ヤ各小區分ヲ終レル時ニ於テハ、再び初メヨリ之ヲ總合シテ首尾貫通ノ一體トナサザルベカラズ、讀書教授ノ如ク、一定ノ教科書ニ依ツテ教授スルモノハ、最モ此總合ヲ爲サントナシテ忘ルベカラズ、今其一課若クハ一章ヲ教授スルヲ見ルニ、授業時ノ終ニ於テ急ニ之ヲ中止シ、置キ更ニ豫メ其區分點ヲ定メ體外ヲ如キコトナキヲミナラズ、此ノ如キ方法ニ依リ數回ノ授業時ヲ費シテ、舊ク全課若クハ全章ヲ終レル時ハ、毫モ前數回ノ授業ヲ更ニ初ヨリ總合シ、打シテ一九トテ以テ全篇ノ趣旨ヲ會得セシムルヲ直ニ去テ他ノ章ニ移ルモノ多シ之レ最モ其教授法ヲ誤レルモノナリ、如何ナル教科ヲ教授スルニ當リテモ、提示ノ際、此三段ノ順序ヲ履ンテ進マザルモノハ、其ノ教授ハ必ズ多少ノ失敗アルコトヲ免レ

提示ノ際、更ニ一言スベキハ、問答法ト稱書トニ關スル今日ノ慣習ナリ、提示ノ際、問答法ヲ以テ進ムヲ以テ上策トナセルモノ多キガ如シト雖モ、之レ必ズシモ然ラズ、豫備ノ際ハ必ズ此方法ニ依ラザルベカラズト雖、提示ノ際ハ然ラズ、算術ノ如ク既往ノ教授ニ依リ、推理退窮スルルハ、以テ容易ヨ今教授セントスル所ハ、數理ヲ理解セシムルニ足ルベキ場合ニ於テハ、問答法ヲ以テ進ムコト決シテ不可ナシト雖、其他ノ場合ニ於テハ、此方法ニ依賴スルヲ要セズ、殊ニ修身歴史ノ如ク、教師滿腔ノ精神ヲ注キ、生徒ヲシテ十分ニ感動ノ情思ヲ發起セシメ、コトヲ以テ目的トスルモノハ、問答法ニ訴フルルハ、全ク其効力ヲ絶滅スベシ、スベテ問答法ハ教師ノ問題ニ應ズベキ、生徒ノ智識能力ヲ要求スルモノナルガ故ニ、智力ヲ使用スルコトヲ以テ主眼トスル教科ハ、此法ヲ以テ提示スルコト不可ナキモ、感情ヲ刺戟シテ、之ニ依リ意志ヲ興起スベキ動念ト化セシメ、コトヲ目的トスルモノニ於テハ、此法ニ依ルルハ、折角ニ興起シタル感情ヲ消滅セシムルニ至ルベシ、之レ最モ注意スベキ點ナリトス、

又、讀書ト稱シ、讀本ノ如キ教科書ヲ用ウルモノハ、教授ヲナスニ當リ、全文ノ提示

チナスニ先キダテ、其中ノ難字難句ヲ摘書シテ、其意義字音ヲ教ヘ、然ル後全文ノ教授チナスニ當リ、屢々其中途ニ難澁ノ字句アルガ爲ニ、教授進路ヲ切斷セシムルコトハ、教授上ノ缺點タルコト疑ナシト雖、然レモ其缺點ハ之ヲ生徒ヲシテ豪モ連絡關係ナキ字句ノ音訓ヲ記憶セシムルノ不合理ナルニ孰與レゾヤ、全文講讀ノ際、流暢ニシテ礙滯ナキヲ欲スルガ爲ニ、其以前ニ強テ關係ナキ字句ヲ諳誦シ置カシムルガ如キハ、決シテ善良ノ方法ト稱スベカラズ、寧ロ講讀ノ際、難字難句ニ遭遇セバ、其大意ヲ説明シ置キ、全文ノ講讀終レルノ後、更ニ其難澁ナルモノヲ摘書シ、複習ヲ兼チテ詳細ナル説明ヲ與フルノ可ナルニ如カズ、故ニ今日行ハル摘書ノ慣習ハ、全ク前後轉倒スル者ト稱スベシ、彼ノ讀方ヲ先キニシ講讀ヲ後ニスルガ如キモ亦タ此轉倒法ニシテ、其意義ヲ講讀スルノ前ニ讀方ヲサントスルノ必要アラバ、ソハ唯其字音ヲ知ルニ止リ、講讀ヲ終リテ其ノ意義ヲ十分ニ瞭知シタル後、茲ニ初メテ眞ノ讀方ヲ教授スベキモハナリ、其ノ意義ヲ知ラズシテ、焉ソ文章ノ讀方ヲ完成シ得ベキヲ理アラザヤ、故ニ之レ亦タ提示ノ際ニ改良スベキ慣習ト稱スベキナリ、

第四節 智識ノ聯結統一ニ關スル心意作用

教育的教授ハ單ニ知ラシムルヲ以テ満足スルモノニアラズ、生徒ノ具有シタル觀念ヲ秩序的ニ聯結シ、其觀念ノ系列ヲ相互ニ錯綜整理シテ、一全軀トナシ、一ノ觀念ヨリ容易ニ他ノ總テノ觀念ニ向ヒテ思想ノ運動ヲ起サシムヲ要ス(クルツ氏ノ語)、故ニ吾人が新智識ヲ取得スル場合ニ於ケル心理作用ヲ講究シテ得タル原理ニ依リ、豫備提示ノ二法式ヲ案出シ、此法式ノ命スル所ニ從テ、教授ヲ爲シ終レルヲ以テ、既ニ其終局ニ到達シタルモノト考フルコト能ハズ、豫備提示ヲ經テ、生徒ノ識得シタル智識ハ、又タ互ニ相聯絡セシメ、悉ク一圓融トナリテ存在セシムベキ法式ヲ之ニ次キテ案出セザルベカラズ、之レ知識ノ聯結統一ニ關スル心意作用ヲ講究スルノ必要ヲ生スル所以ナリトス、

今觀念ノ互ニ相聯絡スル心意作用ヲ考フルニ、其法極メテ單純ニシテ二種アリ、即同種類ノ觀念ハ互ニ相聯絡スルノ勢力ヲ有スルコト、例ヘバ群集ノ中ニ於テ知人ノ顔貌ヲ目撃スルヲ忽チ其知己タルコトヲ認知スルガ如キ之レ其一ナリ、又タ同時ニ意識ニ現出シタル諸觀念ハ、相互ニ聯結スルコト、例ヘバ淺草ノ觀音ノ觀念、意識ニ現

教

授

法

出スル毎ニ必ズ又タ場ノ觀念ヲ聯想スルカ如シ之レ其二法ナリ凡ソ觀念ノ聯結ハ如何ナル場合ト雖也此二法ノ外ニ出ルコト能ハズ然レ此ノ如キ聯結ノ作用ヲ知リ得ルモ教授上ニハ何等ノ光明ヲモ放ツコトナシ何トナレバ教授ノ際同一類ノ觀念ヲ意識ニ現出セシムベキ機會ハ極メテ稀ナルノミナラズ異種ノ觀念ト雖也同時ニ意識ニ現出セシムル場合モ亦タ甚タ多カラズ概テ皆一事ヲ教授シ終リテ更ニ他ノ一事ニ移リ觀念ハ全ク同時ニ現出セシテ多クハ前後相繼キテ意識ニ入ルコトヲ以テ常トスレバナリ故ニ教授上最モ必要ナル問題ハ前後相繼キテ意識ニ現出スル所ノ觀念ハ如何ニシテ聯結セシム得ベキヤヲ考究スルニ在リ

今此ノ如キ觀念ノ聯結スル次第ヲ考フルニ其聯結ノ心意作用ニ至リテハ第二法ト異ナル所ナシト雖也其結果ニ至リテ大ニ異ナルヲ見ル即觀念ハ前後ノ次第ナキ一群トナラズシテ其ノ意識ニ現出シタル順序ヲ亂サズ恰モ一條ノ連珠ノ如ク相聯結スル所謂系列ヲ生ズルコトナル今之ヲ詳説セシムニ一觀念(イ)意識ニ現出スルニ當リ之ト同時ニハアラズシテ之ニ次キテ(ロ)ノ觀念意識ニ現出ストセシ(リ)觀念ノ意識ニ十分ノ現出ヲナスニ當リテハ(イ)觀念ハ既ニ半ク意識外ニ在リト雖

教 授 法

其一部分ヲ(イ)全部ニアラズ(ロ)觀念ト同時ニ意識ニ現出スルコトヲ得ベシ茲ニ於テカ(イ)觀念ハ其一部分ヲ以テ(ロ)觀念ノ全部ト聯結スルニ至ルベシ然ルニ若シ諸觀念ノ意識ニ出現スルコト極メテ迅速ニシテ(イ)觀念未ダ全ク吾人ノ意識外ニ去ラザル際(ロ)觀念ハ勿論(ハ)觀念(ニ)觀念(ト)キ(リ)ス(メ)既ニ意識内ニ現出シ來レルモノトセバ(イ)觀念ハ又タ此等ノ諸觀念トモ幾分ノ聯結ヲナサザルベカラズ唯其各觀念ニ對スル聯結ノ勢力ニ至リテハ(ロ)觀念以下其觀念ヲ遠カルニ從ヒテ漸々薄弱トナルコト勿論ナリトス而シテ最后ニ(イ)觀念ノ勢力遂ニ及ハザルノ觀念アルベシ之レ即(イ)觀念ガ其聯結ノ勢力ヲ以テ他ノ觀念ヲ意識ニ現出セシムルコトヲ得ベキ限界ナリトス

然レ此ノ如キ聯結ノ勢力ハ(獨)觀念ノ具有スル所タルノミナラズ(ロ)觀念以下悉ク其後ニ來ル所ノ觀念ニ對シテ何レモ此勢力ヲ有セザルハナシ故ニ(イ)以下ノ各觀念ガ其後ニ來ル所ノ觀念ニ對スル聯結ノ勢力ヲ圖解スルハ恰モ左ノ如クナルベシ

故ニ例ヘバ第四(二)觀念ガ其聯結作用ニ依リテ意識ニ現出シ得ベシ

統一ノ心意作用ニ依リ、自ラ別レテ二種トナル即一ハ各學科ニ於テ相繼キテ教授
 オベキ教材ノ配列ニシテ、例ヘバ尋常科第一年ノ修身教授ハ如何ナル材料ヲ如何
 ニ順序ニテ配列シ、第二年ハ之ニ次キテ又々如何ナル材料ヲ採用スベキヤ、其間
 然聯結ハ如何ニスベキヤヲ論ズル者之レナリ、心理上ノ語ヲ以テフ其ハ各學科
 ニ於テ如何ナル觀念ヲ以テ言學科ノ系列ヲ構成スベキヤト云ヘルノ之レナリ、
 其二ハ各年級ニ於テ同時ニ教授スベキ諸學科ノ間ニハ如何ナル聯結ヲ要スベキ
 ヤ、而シテ之ヲ統一スベキ諸學科ノ中心點ハ、如何ナル觀念ニ置クベキヤ、即心理作
 用ヨリ説明スルルハ各學科ノ教授ニ依リテ構成スベキ諸系列ハ、如何ニ聯結スベ
 キヤ、而シテ其中心點、即共通點タルベキ最モ重要ナル系列的觀念ハ、如何ト云ヘル
 之レナリ、第一問即縱ニ教科ヲ配列スベキ方法ニ至リテハ、提示ノ際ニ説明シタ
 ル心意發達ノ程度ニ準據スベキ一般ノ理由ト、實際教師ノ任ニ在ル人ハ、教則ノ規
 定ナル所トニ依リ、其順序配列ヲ考フルルハ、以テ其一權ヲ握フコトヲ得ベキヲ以テ、
 今ハ之ヲ説明セズ、唯第二問、即橫ニ諸教科ヲ聯結スベキ方法ヲ、現行ノ課程ニ就キ
 テ略述セシメトス、尋常科ニ在リテハ主トシテ左ノ如ク聯結セシムコトヲ要ス、

教育ノ目的トスル所ハ、善良ナル日本臣民ヲ養成スルニ在ルコト、善良ナル臣民ヲ養
 成セシガ爲ニハ、其人ノ道德思想コソ、實ニ最モ切要ナル觀念タルコト、固ヨリ言テ俟
 タザル所ナルヲ以テ、其諸教科ノ中心點タルベキモノハ、修身科ノ教材ニ在ルコト、
 又々一定シテ動カスベカラズ、而シテ其修身科ノ材料ハ主トシテ提示ノ際ニ論述
 シタル撰擇法ニ從フテ採用スベキモノトス、修身科ニ次キテ重要ナルモノハ、讀書
 科ナリ、今修身科ノ材料ヲ以テ各科聯結ノ中心點トナスルハ、讀書科ニ於テ講讀セ
 シムベキ材料ハ、專ラ修身教場ニ於テ說話シ、若クハ講讀セシメタル事實、若クハ物
 語ト關係ヲ有スルカ、或ハ之ヲ二層詳細ニ説述シタル文章ヲ記載スルコトヲ以テ
 主眼トナシ、旁ラ又々他學科トノ聯結點ニ注意シ、理科ニ關スル事項ヲ加フベキ
 モノトス、作文ハ其學科ノ性質ヨリシテ、已ニ讀書科ノ應用法ニ過ギザルヲ以テ、作
 文ノ文題及ビ其事項ハ、悉ク修身科及ビ讀書科ニ於テ、既ニ教授シタル事物ニ關聯
 セザルハカラズ、習字ノ如キモ、亦タ其習熟セシムベキ文辭ハ、悉ク之ヲ讀書科、若ク
 ハ他ノ學科ニ於テ、既ニ其ノ意義ヲ説明セラレタルモノヲ採用スベシ、彼ノ習字手
 本ト稱シ、他學科ニ關係ナキ言語文辭ヲ教授スルカ如キハ、實ニ無稽ノ甚シキモノ

ト爾ヲ以テ、算術ニ於テ注意スベキハ、主トシテ問題及ビ數ノ上ニ存ス、其練習トシテ兒童ニ與フル數字ト、問題トハ、悉ク之ヲ記憶セシムルニ足ルベキ意義ヲ有スルモノタラザルベカラズ、例ヘバ、修身科ニ於テ、說話シタル某家族ノ人數ヲ以テ、數ノ練習問題トナスカ如キ、讀書科中ノ理科ニ關スル事物ノ、數理上ノ關係ノ如キ、即機會アル毎ニ他學科ヨリ之ガ材料ヲ採用セシムルヲ忘ルベカラズ、

高等科ニ於テハ、修身歴史ノ二科ヲ以テ、諸學科ノ中心點トナシ、兩科ニ於テ授クル所ノ、說話訓戒ハ相須テ生徒ノ道德思想ヲ養フニ勉メザルベカラズ、地理科ハ其初期ニ於テハ、殆ド歴史科ト合併スルニ得ベク、地理教授ノ範圍郷土誌以外ニ擴張セラル、ニ及ベバ、理科ノ材料ト密接ノ關係ヲ有セシムルニ得ベク、

ベシ、讀書科ハ其應用科タル作文習字科ト共ニ、又タ他ノ一方ニ於テ、修身歴史科ノ教授ト聯絡セシム、更ニ地理理科ノ材料ヲモ挿入シテ、諸學科トノ關係ヲ密接ナラシムル、恰モ尋常科ニ於ケルガ如クスベシ、

此ノ如キ主義ニ從テ教材ノ配列ヲナシ、兼テ之ガ教授ノ上ニ於テ十分ノ注意ヲ

第五節 第三及第四形式期 聯絡及ビ統一

前節ニ説述シタル心理作用ハ、提示ニ次キテ第三及第四形式期ノ作用ヲ施スベキ所以ノ原理ニシテ、其教材ノ配列ハ、此教授作用ノ功ヲ收ムルニ必須ノ條件ナラトス、

聯絡作用ノ第一步ハ、教授ヲ終レハ後、之ト相類似シ、若クハ關係ヲ有スル所ノ舊觀念ニ比較セシムルニ在リ、例ヘバ、歴史ニ於テ、神武天皇ノ說話ヲ聞キ終レルモノニ向ツテ今又タ日本武尊ノ物語ヲ教授シタルトハ、必ズ其御武勳、征服シ賜ヒタル賊徒及ビ版圖、其性行等ヲ互ニ比較セシメ、其結果トシテ雙方ノ智識ヲ聯絡スルカ如シ、又タ理科ニ於テ、家鴨ト野鴨トヲ教授スルノ後、之ヲ比較シテ、其類點差點ヲ知ラシメ、更ニ鶴鷺ノ如キ、涉水類ト比較セシメ、其習性異ナルニ從ウテ自ラ其身軀ノ構造ニモ差異アルコトヲ知ラシメ、兩者ノ智識ヲ聯絡スルト同時ニ又タ双方ノ照應ニ依リ、益、其智識ヲ精確ナラシムルガ如シ、此ノ如ク一ノ觀念若クハ一ノ觀念系列ヲ構成ヒシメタル毎ニ、必ズ之ニ次クニ既得ノ智識ト比較セシムルノ法ニ出ルルハ、其結果ハ兩者意識ニ共存スルヲ以テ、或ハ諸觀念ノ系列トナリ、若クハ系列間ノ

聯絡ヲ生ズルニ至ルベシ、

地理理科ノ如ク、又ハ歴史ノ年代地名ノ如キハ、何レモ此意識共存ノ心理作用ヲ以テ之ヲ聯絡セザルベカラズ、彼ノリツナルノ唱道シタル地理學ノ比較法ト稱スルモノ、又此聯絡ノ心理作用ヲ、學科ノ研究上ニ應用シタルモノナリ、

聯絡ノ際最も注意スベキハ、聯絡ニ依リテ成レル系列ノ首位ニ在ル觀念之レナリ、心内ニ潜在スル智識ヲシテ、必要ノ際ニ急速ノ復現ヲ爲サシムルコトヲ得ルト否ヲザルトハ、全く首觀念ノ如何ニ在リ若首觀念ニシテ生徒ノ最も能ク熟知シ、又諸種ノ關係ニ於テ其他ノ智識ト聯絡スルモノナラシカ、此觀念ノ系列内ニ在ルモノハ、悉ク容易ニ之ヲ復現セシムルコトヲ得ベシ、然ルニ若之ニ皮スルハ、例一系内ニ在ル觀念中ニハ、最も能ク復現シ得ベキ勢力ヲ有スルモノナリト雖モ、復現ハ當初聯絡ノ順序ニ從フモノナルガ故ニ、首觀念ノ爲ニ却テ大ニ之ガ復現ノ機會ヲ阻碍セラルベシ、故ニ教授ハ常に其發達ヲ生徒ノ熟知シタル事物ヨリ説キ起シ、地名年代ノ如キモ生徒ノ熟知シタルヲ以テ其系列ノ首觀念ト爲スベシ、而シテ比較ノ際、又テ可成系列ノ首觀念タルモノヲ意識ニ復現シ互ニ相聯絡セシムルコトヲ勉ムベキナリ、

教 授 法

教

授

法

聯絡ニ二様ノ區別アリ、即一ハ同一學科ノ材料ニ付キ、強固ナル聯絡ヲ計ルコト、一ハ他學科ノ智識トカ、聯絡ヲナサシムルコト之レナリ、一回ノ授業時間ニ教授スル材料ハ、既ニ提示ノ際十分ノ聯絡ヲナセルモノナリト雖モ、更ニ數回ヲ通シテ其間ノ聯絡ヲ計ラザルベカラズ、教授ノ材料ハ固ヨリ首尾相貫通スルコト勿論ナルヲ以テ、毎回ノ教材ハ、必ず其前後ノ教材ト自然ノ關係ヲ有スルヲ必セリ、從テ聯絡ノ際ニハ、單ニ之ガ比較ノ點ヲ異ニシ、諸種ノ方面ヨリ觀察セシメテ、相互ノ聯絡ヲサシムルコトヲ要ス、例ヘバ、讀書科中同一ノ材料ト雖モ、或ハ文態上ヨリ、或ハ文法上ノ關係ヨリ、又タ或ハ字句上ヨリ、之ヲ觀察比較セシムルコトヲ得ベシ、他學科トノ聯絡ヲ計ルニモ、亦タ此主義ヲ以テ至眼トスベシ、例ヘバ、修身科ニ於テ、一ノ說話ヲ爲シ、以テ道德的材料ヲ給與シタル時ハ、算術教授ニテ構成スベキノ系列ニモ、地理理科其他學科ニテ構成スベキモノニモ、皆其首觀念ヲ此說話ニ置カンコトヲ勉ムルコト之レナリ、例ヘバ、算術ハ、其說話中ノ一家族若クハ其他ノ數ニ關スル事項ヲ以テ説キ起シ、地理理科ハ、其說話中ニ現ハレタル地名、及ヒ自然事務若クハ現象ヲ以テ

發端トナスガ如シ此ノ如クスルトキハ其諸學科ノ智識ヲ悉ク一點ニ聯結スルニ
トテ得ベシ故ニ生徒ハ其說話ニ依リテ自由ニ他ノ諸學科ノ智識ニ其思想ヲ運動
セシムルコトヲ得ルニ至ルベシ

比較聯結ノ結果トシテ生徒ノ智識ハ漸々其類ヲ以テ集リ其思想ハ整頓セラレテ
小系列ハ漸之ヲ包括スル所ノ大系列ニ隸屬スルトナリ意ニハ思想ノ全界ヲ一
系統下ニ支配スルニ至ラザルベカラズ例ヘバ歴史ハ箇々ノ事實ヲ聯結シテ系列
トナシ更ニ數系列ヲ聯結スルニ其全軀ヲ包括スル所ノ題目ヲ以テシ又更ニ各問
題ノ事實ヲ概括シテ小期ヲ成シ小期ノ竟ニ歷史上ノ大時斯ニ統括セラルガ如
シ此作用ノ量最モ完全ナル模範ハ博物學ニ於テ之ヲ認知スベシ大小形狀全シカ
ラザル箇々ノ犬ヲ概括シテ犬屬トナシ更ニ之ヲ他ノ貓屬ノ動物等ト共ニ概括シ
テ食肉類トナシ又タ他ノ齧齒類翅手類等ト共ニ之ヲ概括シテ哺乳類トシ更ハ魚
類兩棲類ト共ニ之ヲ概括シテ有脊動物ノ名稱ヲ下シ無脊動物ト統括スルハ動
物トナリ植物ト合シテ之ヲ生物ト云ヘル最モ大ナル概括的觀念ニ依リテ統一ス
ルカ如シ如何ナル種類ノ智識ト雖モ漸次之ヲ比較聯結統合スルコト此ノ如クナ
ラザルベカラズ而シテカク統合セラレタル各箇ノ間ニハ間斷ナク相互ニ諸種ノ
關係ヲ以テ聯想セシムルハ茲ニ生徒ノ出來ウベキ限ニ於テ最モ整然タル最モ
統一セラレタル思念ヲ有スルニ至ルベシ

第六節 應用

以上四段ノ教授作用ヲ經テ生徒ノ現在ニ具有スル一切ノ智識ハ悉ク整頓シテ生
徒ノ思想ハ意志ノ命ズル所ニ從ヒ如何ナル方向ニ對シテモ自由ニ運動スルコトヲ
得ベキ最モ活用的狀態ヲ保テリトスルモ尙未以テ完全ナリトスベカラズ生徒ノ
日々ニ成長スルニ從ヒ其自然ノ經驗及ヒ交際ニ依リ又タ學校定規ノ教授ニ依リ
テ現在ニハ未タ嘗テ獲得セシコトナキ數多ノ智識ヲ得又タ數多ノ新ナル場合ニ
遭遇スベシ此時ニ當リ生徒ハ此新智識若クハ新ナル場合ニ對スル關係ヲ發見セ
ザルニ於テハ如何程活用ノ狀態ヲ保テル思念界ト雖モ毫モ之ヲ活用セシムルコ
ト能ハザルベシ然ルニ人間ノ一生ハ既ニ經驗シ得タル場合ニ遭遇スルコト固ヨリ多
シト雖モ亦タ全ク新ナル場合ニ臨ムコトモ少シトモズ此場合ニ於テ能ク其智識
ヲ活用セシガ爲ニハ絶エズ之ヲ新ナル場合ニ應用スルコト一事ヲ忽諸ニ付スベカ
シ

ラザルコトヲ知ルニ足ラン、已ニ得タル概括ハ、新事實ニ依リテ、之ヲ補成シ、若クハ更ニ一等高尙ナル概括ヲサザルベカラズ、新ニ得タル智識ハ、既得ノ智識トノ關係ヲ考ヘテ必ズ之ヲ適宜位置ニ配列セザルベカラズ、

(五四)

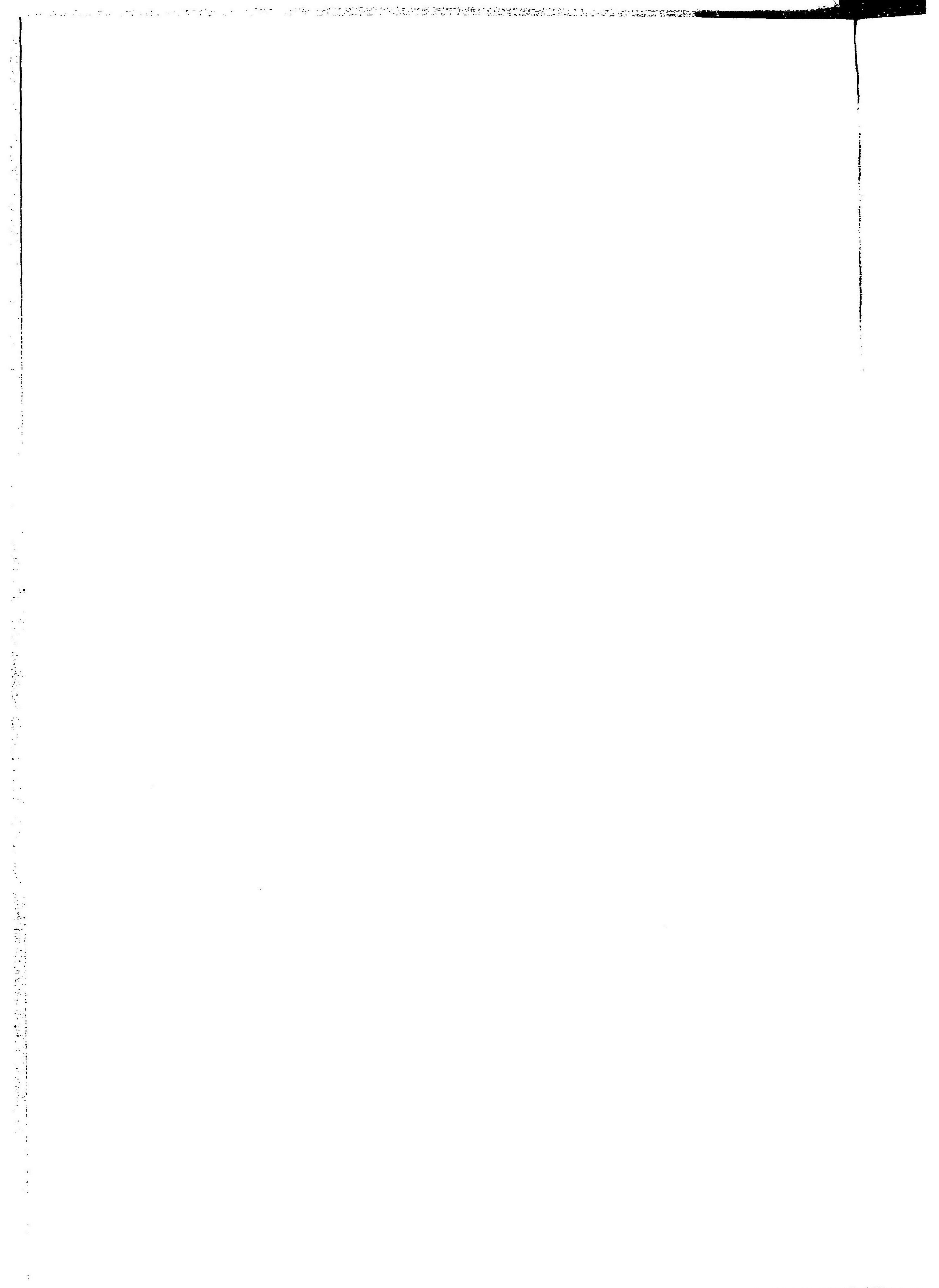
カク新ナル應用ニ依リ、舊智識ニ不絶意識ニ複現シ來ルノ場合ヲ多クセザレバ、眼前ノ事實ハ常ニ意識ヲ占有シテ、舊來ノ智識ハ殆ト全ク忘却スルニ至ルベシ、漸次此ノ如ク既往ノ智識ヲシテ忘却ノ地位ニ立タシムルキハ、所謂忘レノト欲スルガ爲ニ學問ヲナストノ勝ヲ甘受セザルベカラザルニ至ルベシ、而シテ今日ノ教授法、新智識ノ教授ニ着眼スルモノ、ミ多クシテ、應用ノ機會ヲ與アルコト實際甚ダ少ナキガ如シ之レ智識ノ死物トナル所以ナリ、完全ナル教授作用ヲ於テハ、必ズ最後ニ應用ノ一段ヲ缺如スベカラズ、

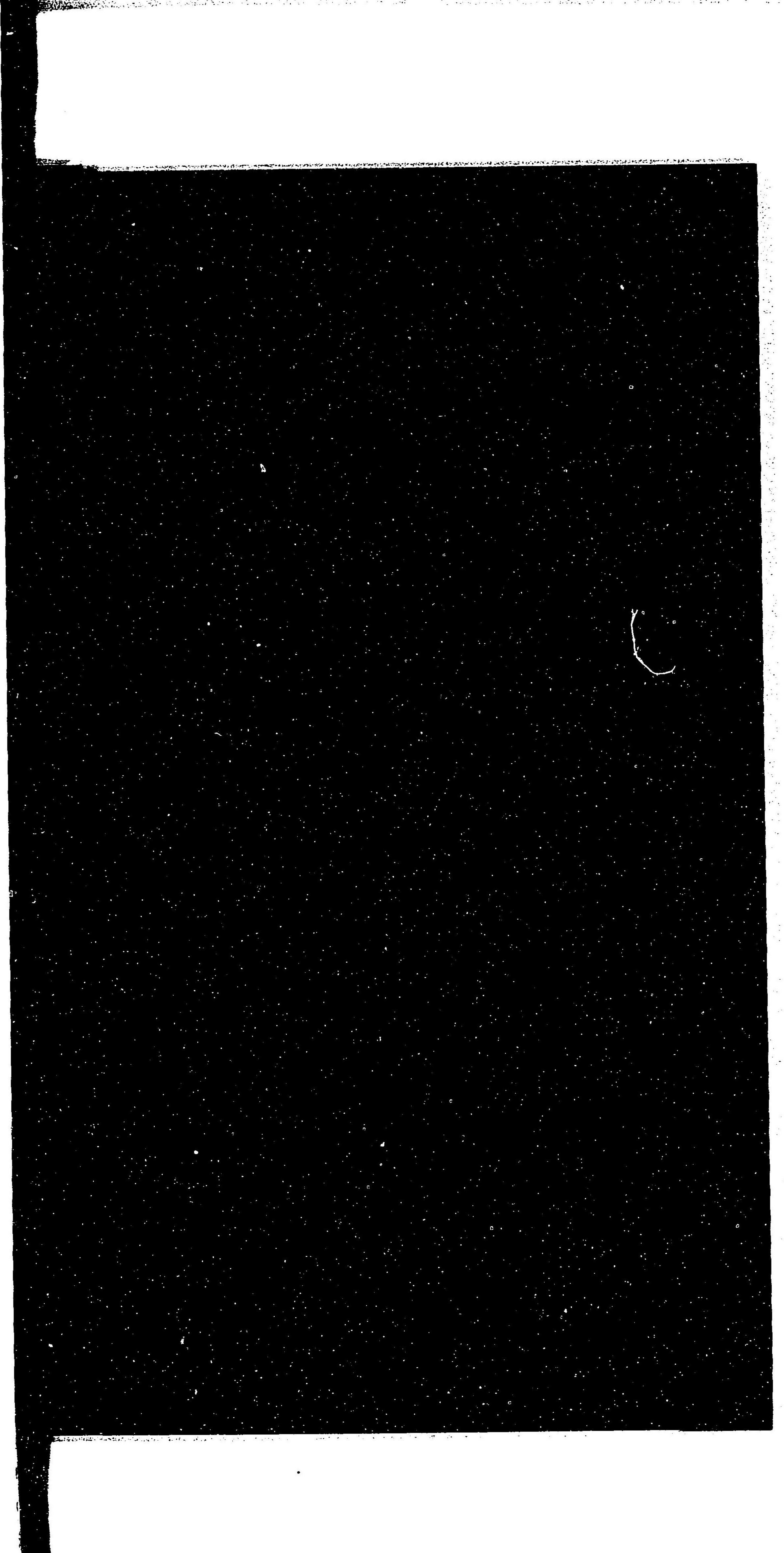
以上論述シタル教授五段ノ法或ハ完全ナル教授ニ必須ナル者ニシテ、一々ビ、教授シタル材料ハ、早晚之ニ此五法式ノ教授作用ヲ施スニアラザレバ、眞ニ有用ノ智識トナリテ教育的教授ノ要旨ヲ貫徹スルコト能ハザルモノトス、各學科ノ材料ヲ、此法式ニ從テ教授センニハ、如何ナル特殊ノ注意ト、方法トヲ要スベキヤ、ソハ教授特論ノ關スル所ナリ

14

226







14

226

哲学館講議録

教授法

国立国会図書館

046667-000-7

14-226

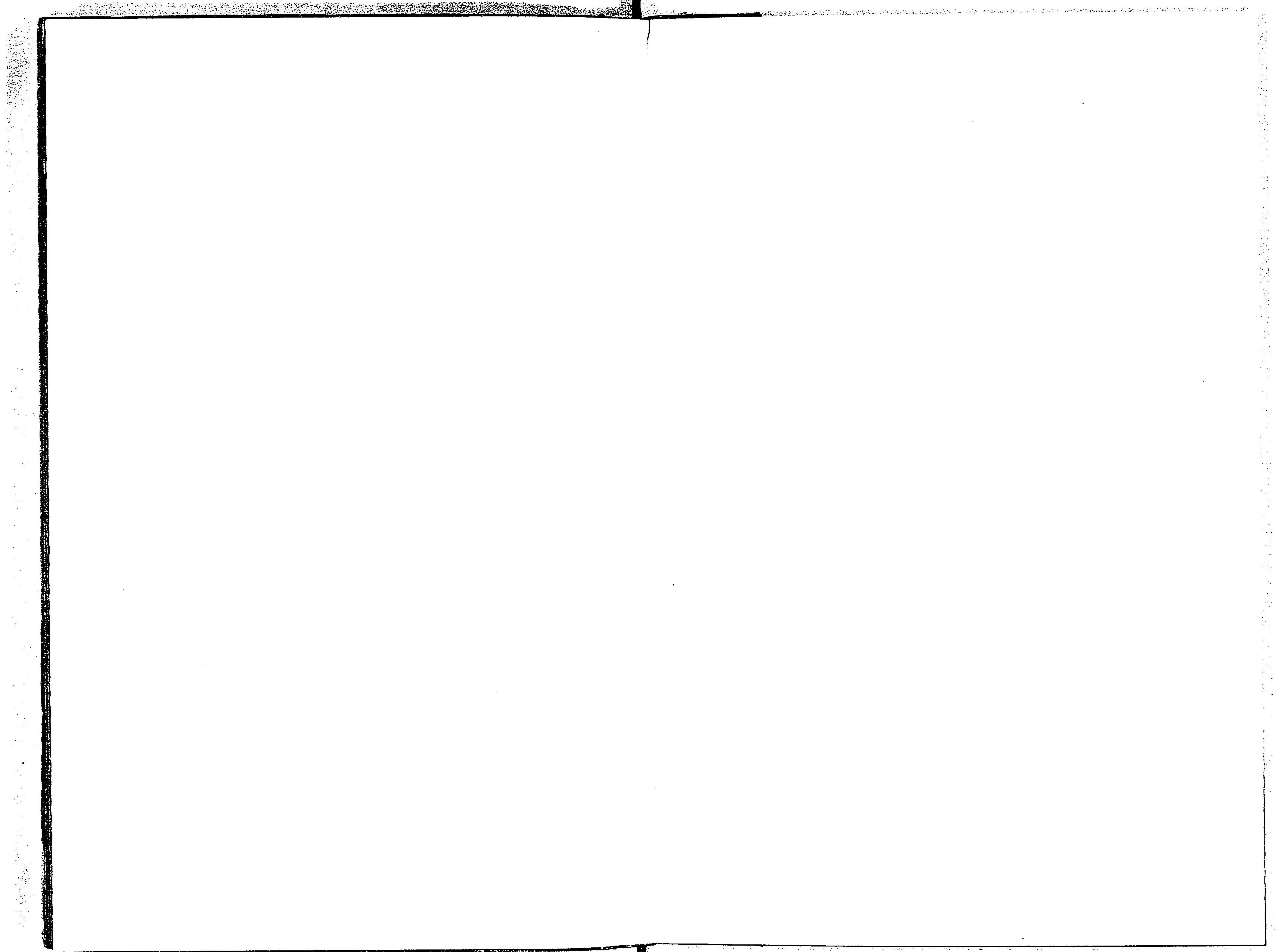
教授法

本荘 太一郎/述

M32?

BEF-0135





14
226

上 T 80

北平圖書館第十一區年度
圖書教育學科講義錄

教授法

本莊太郎

藏